



令和元年 6 月 20 日 (木)

おもて

将来的な見通し？  
 (特に安全面)



- 放射能はこれまで、現在、これから大丈夫なのか？
- 作業に携わる人の健康は保障されているのか？
- 将来的に廃炉に携わる人々が確保できるのか心配。

うら

放射能を本当に大丈夫なのか？



- ・ 廃炉作業の工程の1つに於いて、安全を最優先と進めている。ガスを除くときも放射能の物質が飛び散ることがないように薬剤をかけるなどの工夫をしている
- ・ 事故当時は放射能の物質が飛び散り放射能が高い状態が今は落ち着いてきている
- ・ スリーマイル島の原発事故で、ジョージア州などの牧草事例の経験を生かして、福島県の原発に適用している



「それって本当に大丈夫なの？」という思いは消滅し、廃炉に進めたいと住民との信頼関係が全体的に信頼できるといふ分りやない言葉で理解し合えるまでですね。

おもて

デブリはどのように取り出すか



背景、デブリを取り出す技術的根拠が明確に示されていない

うら

課題

1. 最終廃炉とはデブリを取り出すことだが、むずかしい。
2. デブリを取り出すことが困難であると言う事を国民的に共有できる様にするための情報共有ができていない。

答え

1. 住民、国民にデブリを取り出せばいいから取り出せばいいと知らせる。
2. デブリを取り出す以外の方法を採る見直し。

判断ができない材料を示して頂くと。

おもて

増え続ける処理水は流せないの？

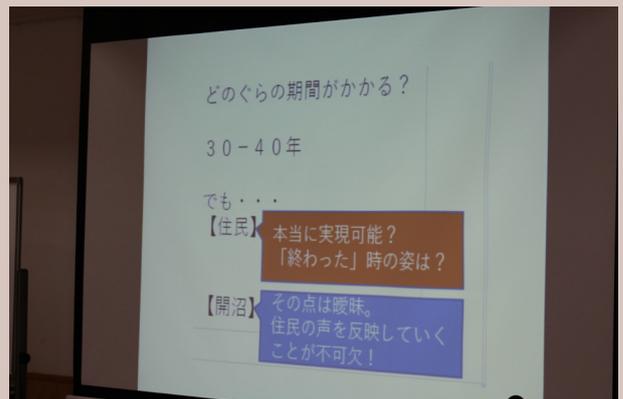


今までは流してた。  
風評が心配。

うら

処理水は流せるいの？

- ① 正しいトリチウムの処理について  
知る・知らせる  
例としては、事故前は海にホト流していた  
こと。他の原発でも流していることで知られ  
ることが問題！
- ② 風評の心配をヒトからくく、多くの人  
①のことで知らせることで、理解を深める
- ③ メディアの正しい情報の位置
- ④ トリチウムetc. 分からないことを  
分かりやすく伝えることに加え、知ることで  
解決（地元の理解）日本・世界の理解  
・X 風評はなかなか  
減らすことはできない。



# 1FDIV 第4回福島第一廃炉国際フォーラム

## はいろのいろは・共創ワークショップ

